

将来に備えて、助け合い活動を広めます

愛称 スマイル玉村 (笑顔で暮らせるまちづくり協議体)

生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体

地域包括支援センター ☎(64)7721

2025年には、団塊の世代が75歳以上の「後期高齢者」になり、医療や介護の需要が現在よりさらに増加することが見込まれます。年を取って体が不自由になっても、住みやすい、住んでいてよかった地域を作っていくためには、さまざまな組織や団体、民間企業などと情報を共有し、連携や協働することで助け合い活動を広げていきます。その取り組みをスマイル玉村が中心になって推進していきます。

介護や生活支援を必要とする高齢者や単身生活者、高齢者のみの世帯が増える中、生活の継続に必要な買い物や掃除の支援、高齢者が生きがいを持って参加できる活動が、これまで以上に必要になると見込まれます。

このため、従来のホームヘルプやデイサービスだけでなく、住民が実施する取り組みも含めた、多様な担い手による高齢者の支援体制を、地域の中に作っていくことが必要になっていきます。

協議体・生活支援コーディネーターが中心となり広めます

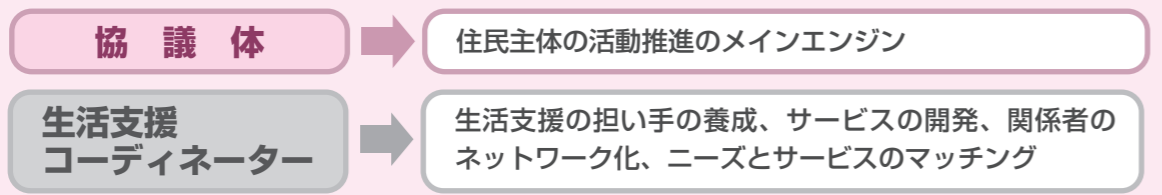
スマイル玉村構成員

小池 康雄<委員長> (ふれあいの居場所)	重田登代次 (長寿会連合会)	浅見 明 (シルバー人材センター)
温井 輝夫<副委員長> (ボランティア連絡協議会)	永井恵美子 (NPO法人)	月田 昌秀 (健康福祉課)
齋藤 元<SC※> (民生委員児童委員協議会)	清水 和夫 (NPO法人)	畑中 哲哉 (健康福祉課介護保険係)
新井 栄子<SC※> (ボランティアコーディネーター)	寺田 純子 (NPO法人)	岩谷 孝司 (地域包括支援センター)
天野 正勝 (ふれあいの居場所)	小林 一幸 [(医)MSW]	飯嶋 綾子 (地域包括支援センター)
五十嵐三枝子 (区長会)	松沢 弘美 [(社福)ケアマネージャー]	

※SC=生活支援コーディネーター

協議体、生活支援コーディネーターって何?

協議体と生活支援コーディネーター



第1層の協議体

生活支援資源をさがす・つくる地域ケア推進会議への資源の提案

多様な主体 (専門職以外も多数)

第2層の協議体

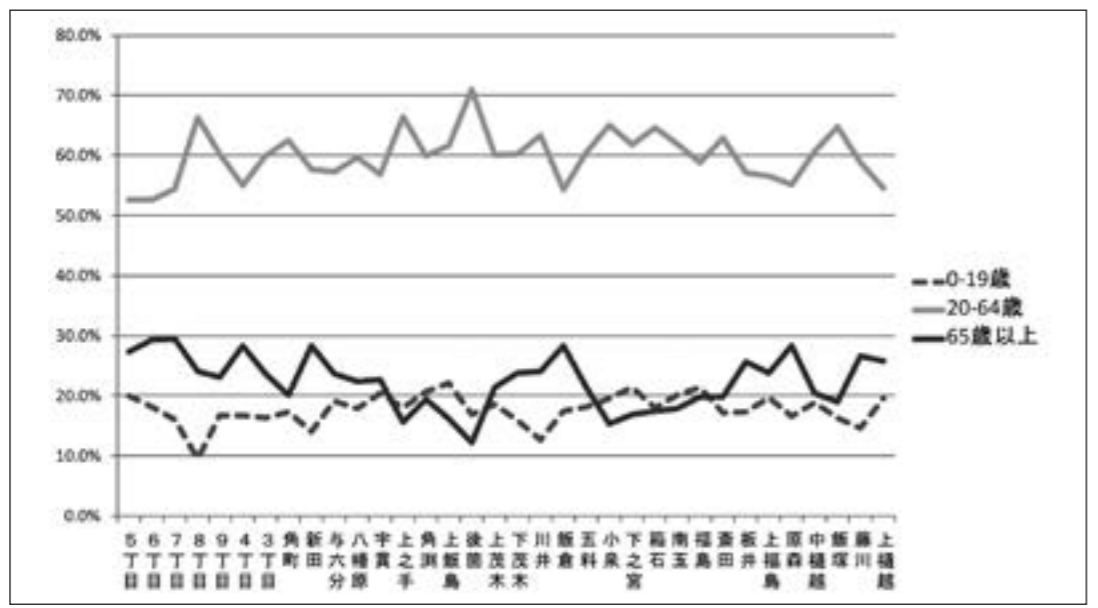
多地域の活動を知り、自らの地域の活動に生かせるよう生活支援コーディネーターと一緒に考える場

多様な主体 (住民多数)



各地域における年齢階層別人口割合 (6月1日現在)

(町の人口: 36,872人、高齢化率: 21.6%)



グラフのとおり町内も地域によって、年齢階層別人口割合も違います。高齢化が進んでいる地域、そうでない地域、町内での状況はさまざまです。そのため、地域の実情に合わ

せて、さまざまな地域資源を活用しながら助け合いの輪を広げていきます。ぜひ皆さんも他人ごとではなく、自分ごととして地域づくりに積極的に参加してください。

協議体が取り組む4つのテーマ

～取り組みの内容などは随時広報などでお知らせします～

